

令和3年2月末までのイベント開催制限の考え方

時期	収容率
令和2年9月30日まで	50%以内



時期	収容率	
令和2年10月1日から 令和3年2月末まで	大声での歓声・声援等がないことを前提とするもの ・クラシック音楽等コンサート、演劇等、舞踊、伝統芸能、芸能・演芸、公演・式典、展示会 等	大声での歓声・声援等が想定されるもの ・ロック、ポップコンサート、公演 等
	100%以内 (席がない場合は適切な間隔)	50%以内(※) (席がない場合は十分間隔)

※異なるグループ間では座席を1席空け、同一グループ(5人以内に限り。)内では座席間隔を設けなくともよい。すなわち、収容率は50%を超える場合がある。

各種イベントにおける大声での歓声・声援等がないことを前提とする／想定されるものの例

大声での歓声・声援等がないことを前提とするものの例	大声での歓声・声援等が想定されるものの例
音楽	音楽
クラシック音楽(交響曲、管弦楽曲、協奏曲、室内楽曲、器楽曲、声楽曲 等)、歌劇、楽劇、合唱、ジャズ、吹奏楽、民族音楽、歌謡曲等のコンサート	ロックコンサート、ポップコンサート 等
演劇等	公演
現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカル、読み聞かせ、手話パフォーマンス 等	キャラクターショー、親子会公演 等
舞踊	
バレエ、現代舞踊、民族舞踊 等	
伝統芸能	
雅楽、能楽、文楽・人形浄瑠璃、歌舞伎、組踊、邦踊 等	
芸能・演芸	
講談、落語、浪曲、漫談、漫才、奇術 等	
公演・式典	
各種講演会、説明会、ワークショップ、各種教室、行政主催イベント、タウンミーティング、入学式・卒業式、成人式、入社式 等	
展示会	
各種展示会、商談会、各種ショー	

(注) 上記は例示であり、実際のイベントがいずれに該当するかについては、大声での歓声・声援等が想定されるか否かを個別具体的に判断する。